

活動分野	森に親しむ講座		
タイトル	鳥の渡り～何千キロも飛んで渡るのはなぜ～		
実施日時	平成 29 年 12 月 7 日（木）10 時～12 時		
実施場所	千葉市文化センター		
受講者	41 名	F I C 会員	13 名

## 活動の内容

- 1.最初にスライド・動画で「高原の鳥、鳥の子育て」及び鳴き声を合わせて紹介。
- 2.鳥の渡りの解説
  - (1) 渡りとは  
毎年同じ季節に二つの地域を行き来する移動のこと。北の繁殖地と南の越冬地を移動する
  - (2) どんな鳥がどこに渡る ～ 夏鳥、冬鳥、旅鳥について代表的な鳥を紹介
  - (3) いつ渡るのか ～ 大型の鳥は昼、小鳥は夜、
  - (4) なぜ渡るのか  
鳥が渡りをするのは食料を求めて、特に子育てのための食料を十分に確保するため。北半球では春の一斉に昆虫が大量発生し、それが子育ての恰好の餌になる
  - (5) どうやって渡る～定位・航法  
太陽、星座、磁気、視覚、におい、など多くの感覚を利用して何千キロもの渡りを正確に行っている
  - (6) どうやって渡る～体力  
体脂肪を 15～100%も蓄え、風や上昇気流を巧みに利用して渡る
  - (7) 編隊飛行  
大型の鳥が群れで飛ぶとき一番効率の良い場所を選ぶと自ずと逆 V 字がたになる
  - (8) アネハツル  
アネハツルはヒマラヤ 8000m 級の高峰を越えて渡る。どうしてそんな事が出来るのか、何故わざわざヒマラヤを超えるのか
- 3.最後に伊豆沼・蕪栗沼、北海道、沖縄などで撮影した写真を紹介

